

10 土砂災害から身を守ろう

どしゃさいがい
土砂災害について知り、どのように身を守ればよいかを考えよう。

○土砂災害について知っていることを書いてみよう。

○土砂災害について学びましょう。

山やがけの土砂（土や砂、石）がくずれたり、くずれた土砂が雨水や川の水とまじって流れてきたりする災害を土砂災害といいます。

土砂災害は、発生のおきみや土砂の動き方から、「土石流」「地すべり」「がけくずれ」の3つに分けることができます。その多くは、大雨や雪どけ、火山活動や地震がきっかけで起こります。

どせきりゅう
土石流



地すべり



がけくずれ



(資料提供：NPO法人 土砂災害防止広報センター)

土砂災害が起きるときには、次のような前ぶれが見られます。

○土石流の前ぶれ



川の中でゴロゴロという音がしたり、火花が見えたりする。



山鳴りといって山全体がうなっているような音がしたり、地震のようにふるえたりする。異常なおいがる。



川の水がにごり、水といっしょにたおれた木が流れてくる。



雨は降り続けているのに、川の水が減る。

○地すべりの前ぶれ



わき水がふえる。



風もないのに山の木がザワザワする。木がさける音や木の根が切れる音がする。地鳴りや山鳴りがする。



池の水がにごったり、急にふえたりへったりする。

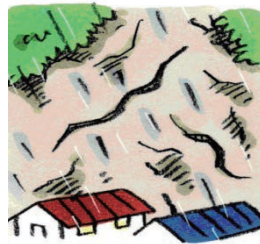


地面にひび割れや段差ができる。

○がけくずれの前ぶれ



がけから急に水がわき出る。わき水の量が急に増えたり、ふき出したり、急に止まったりする。水がにごる。



がけにひび割れができる。また、がけがふくらむ。



がけの上の木がゆれたりかたむいたりする。地鳴りがする。



がけから小石がパラパラ落ちてくる。ただし、いきなりくずれることもあるので注意！

土砂災害の多くは、大雨が原因で起こります。1時間に20mm以上の強い雨が降ったり、雨の日が続いて雨量が100mmを超えたりすると、起こりやすくなると言われています。土砂災害から身を守るには、危険性のある場所をふだんから確認しておき、大雨や長雨、地震の時などは、そこに近付かないようにすることが大切です。石巻市のホームページに土砂災害ハザードマップがありますから、自分の住んでいる地域について確認しておくといいです。また、気象庁や都道府県が発表する情報や市町村から放送される防災無線などもよく聞き、早めの避難を心がけましょう。

○土砂災害から身を守るにはどうすればよいか、考えたことを書きましょう

こくどちりいん
国土地理院
かさ
「重ねるハザードマップ」



ちいきほうさい
地域防災 Web

